

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-42C	16-093	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
<p>Alcohol and lung cancer risk among never smokers: A pooled analysis from the international lung cancer consortium and the SYNERGY study.</p> <p>非喫煙者における飲酒と肺がんリスク：プール解析、国際肺がんコンソーシアムとSYNERGY研究</p>		
執筆者		
Fehringer G, Brenner DR, Zhang ZF, Lee YA, Matsuo K, Ito H, Lan Q, Vineis P, Johansson M, Overvad K, Riboli E, Trichopoulou A, Sacerdote C, Stucker I, et al.		
掲載誌		
Int J Cancer. 2017 May 1;140(9):1976-1984. doi: 10.1002/ijc.30618. Epub 2017 Feb 27.		
キーワード		PMID
飲酒、肺がん、非喫煙者、プール解析		28120396
要 旨		
目的：		
<p>飲酒と肺がんリスクとの関連は明らかではない。この関連は喫煙との交絡がありうるため、既報の解釈は複雑である。喫煙の交絡を避けるために非喫煙者に限定した大規模な国際的なプール解析を行い、飲酒と肺がんリスクの関連を検討した。</p>		
方法：		
<p>対象は国際肺がんコンソーシアム(ILCCO)と SYNERGY コンソーシアムに含まれる北米、欧州、アジアの 22 の患者対照研究とコホート研究より非喫煙者の肺がん患者 2,548 人と対照 9,362 人。飲酒量は 1 日の消費量(g)によりカテゴリー化され、連続量として扱い、3 次スプライン曲線を使用した。ワイン、ビール等の種別の検討も行った。</p>		
結果：		
<p>飲酒量は肺がんリスクと逆相関を示した。非飲酒者よりも軽度～中等度飲酒者で最も低リスクであった(0-4.9g/日：オッズ比(95%信頼区間)(以下 OR(95%CI)と記載)=0.80 (0.70-0.90)、5-9.9g/日：OR(95%CI)=0.82(0.69-0.99)、10-19.9g/日：OR(95%CI)=0.79(0.65-0.96))。ワインと酒類では肺がんリスクと逆相関を認めたが、ビールでは認めなかった。</p>		
結論：		
<p>飲酒量は肺がんリスクと逆相関を示した。この関連は特に軽度～中等度の飲酒者と、ワインや酒類の飲酒で認められ、ビールでは認められなかった。喫煙による交絡の影響は排除できたが、これらの関連に対するその他の交絡については排除できていない。非飲酒者に関連する交絡因子が最も重要である可能性がある。</p>		